

ダットスキャン 検査予約説明書

氏名 _____ 生年月日 _____ 体重 _____ Kg

担当医: _____

検査予約日

_____ 年 _____ 月 _____ 日 () : _____ に注射を行います。

※検査当日はこの用紙を持って、秀和総合病院に注射予約時間の 15分前までにお越し下さい。
検査は注射後 3 時間～6 時間の間で行います（当院では 3 時間後に撮影）

《注意事項》

本剤はエタノールを 5% 含有し、アルコールの中樞神経系への影響があらわれる可能性があるため、アルコールに強い副反応を示す方は検査できない場合があります。

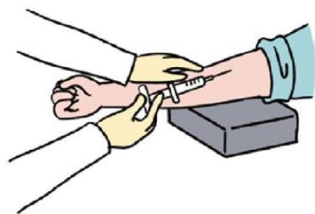
検査前及び検査中の食事制限はございません。

予定日を変更、あるいは取り消される場合は遅くとも 前日 16:00 までに下記までご連絡下さい。

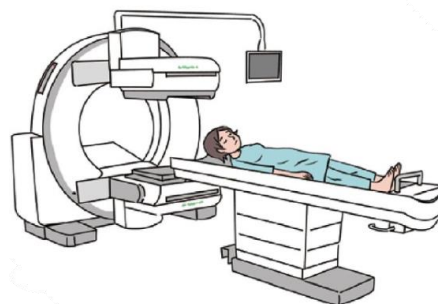
《検査説明》

この検査はドーパミン神経細胞やドーパミントランスポーターの減少をみる画像検査です。

1. 所定の時刻に、お薬を腕に静脈内注射します。
2. 注射後、3 時間以降～6 時間の間に撮影をします（約 30 分）
検査はベッドの上で仰向けに寝ているだけです。



3 時間～6 時間後



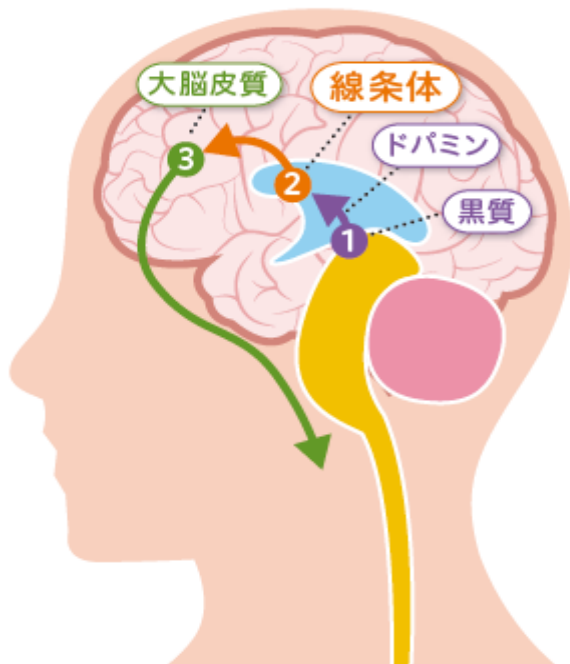
検査に対してのご質問、またはご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください
秀和総合病院 放射線科(RI)担当
048-737-2121(代表) 6005(内線)

パーキンソン病の原因

脳内のドパミン神経細胞が減少

運動の調節を指令している「ドパミン」が不足し、体の動きに障害が現れる

- 1 黒質のドパミン神経でつくられたドパミンが線条体に送られます。
- 2 線条体から大脳皮質に運動を調整する指令が出されます。
- 3 指令を受けた大脳皮質から、全身に運動の指令が伝えられます。



レビー小体型認知症になると

ドパミンが不足

うまく伝わらない
運動を調整する機能が低下

全身への運動の指令がうまく伝わらなくなり、体の動きに障害があらわれます。

レビー小体型認知症の原因

レビー小体の蓄積

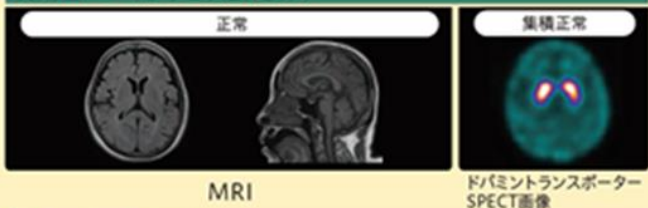
脳内のドパミン神経細胞が減少

運動の調節を指令している「ドパミン」が不足し、体の動きに障害が現れる

本態性振戦(ET)



薬剤性パーキンソニズム(DIP)



脳血管性パーキンソニズム(VP)



多系統萎縮症(MSA)



進行性核上性麻痺(PSP)



特発性正常圧水頭症(iNPH)

